

転貸融資が3割減

保証ファクタリング 下期需要は増

北保証サービスの上期金融取扱

北保証サービスは、2015年度上期（4～9月）の金融事業取扱実績をまとめた。元請企業が利用する地域建設業経営強化融資制度（転貸融資）は、2億4608万円（前年同期に比べ34・0%減少した。下請企業が対象となる下請債権保全支援事業（保証ファクタリング）は4億3197万円、48・1%の大幅減となった。下請債権保全支援事業については今後、年末および年度末にかけて取り扱いの増加を見込んでい

る。転貸融資制度は、元請企業だった。月別の実績をみると、9月が1億3661万円、8月が7551万円、6月が1840万円、7月が1556万円と続き、4、5月はゼロだった。下請企業が元請企業に対する債権を保証する下請債権保全支援事業は、件数が36・1%減の76件、金額が4億3197万円だった。内訳は個別保証の売掛金保証が13件、1億4291万円、手形保証が49件、1億5440万円。枠保証が14件、1億3465万円だった。

業が北保証サービスなど一定の民間事業者などに工事請負代金債権を譲渡し、譲渡した工事の出来高に応じて金融機関から転貸融資を受けるもの。15年度上期の取り扱件数は17・9%減の23件だった。

同社では、地域建設業経営強化融資制度にかかる金利助成0・5%が終了したことを受け、融資利息を一律0・25%引き下げたことで、今後は「厳しい状況だが、さらに活用したいとの声もあり、需要は底堅いものがある」と感じている」と見通している。